

第1回 北上市立笠松小学校・和賀西小学校統合検討委員会 会議要旨

日時：2026年5月26日（火） 18:00～19:40

参加者：（以下敬称略）

検討委員会委員 及川浩子、高橋大、高橋和恵、鈴木麻衣子、阿部小百合、小原琢光、小原麗奈、小原維久子、小原春樹、伊藤等、名須川幸男、高橋剛、照井和仁、小原嘉正、早川英信、高橋博敬、小原隆、菊池塔寿、小原幹男

北上市教育委員会教育部総務課長 嶽間澤健一郎、学校教育課長 多田義孝、総務課 岩淵麻美、高橋典男

欠席者：照井真紀子

会議の概要：

本委員会は、北上市立笠松小学校と和賀西小学校の統合に向けた第1回の検討委員会である。昨年度までの地域協議会の結果を踏まえ、具体的な統合計画について協議することを目的としている。会議はアイスブレイクから始まり、教育委員会からの趣旨説明、出席者の自己紹介、委員会の運営方法に関する協議が行われた。その後、教育委員会から提示された統合方針案（和賀西小学校を笠松小学校へ令和9年4月に統合する案）を基に、校名、通学方法、学童保育など、懸念事項について意見交換が行われた。最後に、今後の委員会の日程や運営について確認し、閉会した。

次第2：教育委員会からの趣旨説明

北上市教育委員会教育部総務課長より、本検討委員会の設置経緯と今後の進め方について説明が行われた。

● 重要ポイント：

- **経緯**：北上市の「適正配置基本計画」に基づき、学校規模の適正化を目的として市内4校で地域協議会が開催された。笠松小学校と和賀西小学校の両地域協議会からは、「子どもたちの教育環境適正化のため、同じ中学校区の小学校との統合を第一に検討したい」との結論が出された。
- **市の教育委員会の方針（案）**：
 - 使用校舎：笠松小学校の校舎
 - 統合目標時期：令和9年（2027年）4月

○ **重要事項:**

- 統合に向けて具体的な協議をしていくことだけが決まっており、詳細はこれから協議して決定する。
- 統合時期については、保護者の「できるだけ早い時期に」という意見を踏まえた目標時期であり、これも含めて本委員会で決定する。

● **委員への依頼事項:**

1. **積極的な発言:** それぞれが推薦された団体の代表として、積極的に意見を述べること。
2. **情報共有と意見集約:** 各自が所属団体に協議内容を持ち帰り、情報を共有し、意見をまとめて次の会議に臨むこと。
3. **相互尊重:** 他者の意見を否定せず、尊重し合うこと。自分の意見を押し付けないこと。
4. **結論の出し方:** 必ずしも多数決ではないが、議論を尽くした上で多数をもって結論とする場合もあること。
5. **中心は子どもたち:** 「子どもたちの教育環境をより良くするための話し合いである」という基本姿勢を常に念頭に置いて協議を進めること。

次第3：出席者の自己紹介

趣旨説明に続き、アイスブレイクで並んだ順番に出席者が自己紹介を行った。

- **自己紹介内容:** 氏名、住まいの学区、所属団体、子どもとの関わりなどについて、一人 30 秒程度で実施。

次第4：委員会規約

笠松小学校・和賀西小学校統合検討委員会の運営規約案を読み上げ、出席者了承により承認。所掌事項、委員構成（20 人以内）、役職（委員長互選・副委員長指名）などについて確認。令和 8 年 5 月 26 日施行。

次第5：委員長互選、副委員長指名

和賀西小 PTA 会長・阿部小百合氏を互選により委員長に選出した。副委員長には笠松小 PTA 会長・及川浩子氏を委員長指名により選出した。委員長からは子どもの最善を第一に、建設的な議論を交わしたいと挨拶があった。

次第6：協議（1）会議の運営方法について

今後の委員会の運営方法について、基本理念、グランドルール等の説明を行った。委員の交代について質疑があり議論が行われた。

- **基本理念・グランドルール：**
 - 議論の出発点は「子どもの最善の利益」を第一に考えること。
 - 発言は手短かに結論から述べ、他者の意見を尊重する。
 - 決定事項や協議内容は、地域住民や保護者へ積極的に伝達すること。希望者にはオブザーバー参加を認めるなど、開かれた委員会運営を目指す。
 - 庁内連携体制を整備済みであり、委員会での情報を広く共有し、必要な協議がスムーズに行われるようにする。
- **委員交代について：**
 - **質問：**任期中の委員交代は可能か。
 - **見解：**やむを得ない場合は推薦団体からの再推薦を経て、決定する。

次第6 協議（2）北上市立笠松小学校及び和賀西小学校の統合方針について

教育委員会から統合案について説明した後、参加者から懸案事項等の意見を聴取した。

- **教育委員会からの統合案説明：**
 - **目的：**一定規模の児童数を早期に確保し、社会性の育成や多様な学びの機会を保障する。
 - **統合方法：**和賀西小学校を笠松小学校へ統合する。
 - **統合時期：**令和9年4月を目途とする。
 - **使用校舎：**現在の笠松小学校の校舎を使用する。
 - **校舎整備：**不要
 - **通学方法：**和賀西小学校の児童にはスクールバスやタクシー等を手配。
 - **学童保育所：**笠松学童へ集約することを基本線にするが、一時的な和賀西学童との併用も検討する。
 - **児童間交流：**統合前の交流活動を秋以降に順次実施する。
- **質疑等：**
 - 北上市教育委員会の統合方針の提案内容について基本的な考え方を確認したいと質問があり、児童の教育環境をできるだけ早く適正な規模にしたいとの考えに基づく方針内容と説明した。

- 「和賀西小学校を笠松小学校へ統合する」と示されているが、和賀西小地域協議会の結果報告からは乖離があると考える。「和賀西小と笠松小を統合する」とすべき。その意図や内容について質問があった。笠松小学校の校舎を使用するという意味で示しており、校名についてはこの委員会内で協議するもの説明とした。

- **主な意見：**

- 方針については概ね理解。スクールバスは手配可能とのことだが通学時間がどれくらいになるか、乗車時間が長すぎない方法で実施してほしい。
- 方針について問題なし。
- この方針内容であればスムーズに統合を進められる。仮に学童を笠松と和賀西とで併用した場合の学校から学童までの移動方法や併用できる期間の目安が知りたい。
- スクールバスの乗車時間や経路などの基準を確認したい。また、学童の広さは統合した場合に十分な広さが確保できているか。
- 方針は基本的に納得できるが、校名について協議が必要。校名が変われば校歌も変わる。
- 校名はどの段階で協議、決定するものか。
- 委員会内での協議内容が明確ではないため、令和9年4月の統合が現実的なものか判断がつかない。放課後の過ごし方は時間も長いため、重要であると考え。両学童の活動内容は異なると思われるため、統合によってその活動内容がどうなるか確認したい。一時的な学童併用についても確認したい。
- スクールバスの具体内容を確認したい。校名の議論が必要とあれば令和9年4月統合は現実的でないのでは。
- 運動着や上靴などが気掛かり。今の（和賀西）学童はいい学童と感じている。
- 各委員から出た意見を一つずつ協議していきたい。
- スクールバス等の1時間などの乗車は現実的でない。熊の出没もあり、ドアトゥードアでの乗車や笠松小児童のバス手配は可能なものか。学童併用は1年間は可能など見通しを知りたい。
- 市教委の統合方針は概ね良いと思うが、校名変更となれば令和9年4月統合は難しいのではないかと。子どもは校名を気にしないのではないかと。

- **配布資料の訂正：**

- 資料3の参考「両校の児童数」について、R8の統合小学校の児童数は100名から「111名」に訂正した。

次第7：その他

今後の委員会の開催日程、時間、曜日、場所について調整。

- 開催頻度と曜日：
 - 2週間おきの開催とし、火曜日開催を基本とすることを提案した。され、次回は6月11日、第3回は6月23日とする案が示された。
- 開始時間、終了時間：
 - 18時30分開始とすることで合意した。終了時間は20時を目安とする。
- 次回の開催日時・場所：
 - 検討の結果、次回は2026年6月11日（木）18:30から、第3回は6月23日（火）同時刻から、和賀地区交流センターで開催することが決定した。